



2010年度 英語教育連環センターフォーラム2

第一部

私の英語授業実践

～広島大学教養教育英語授業の実践に基づいて～

第二部

これからの英語科授業の姿

～A Drastic Change or Small Changes?～

ついでう かずあき
築道 和明 氏（広島大学外国語教育研究センター教授、同副センター長）

講演概要

第一部

話す技能を養成することを主たる目的としている「コミュニケーション IA」の授業実践に関して広島大学着任後の試行錯誤を含めて、現在の授業の実際と課題について、具体的な活動事例を紹介しながらお話する。

第二部

新学習指導要領の実施も迫っているが、中学校の英語科授業を素材に、解決すべき課題とこれからの授業改善の方向性について、具体的な事例を挙げながら、参加者の皆さんと検討する。

講演者プロフィール

築道 和明 氏

昭和 52 年（1977 年）4 月から 5 年間、広島県内の県立高等学校に勤務。その後、退職し、広島大学大学院教育学研究科で英語教育学を専攻。昭和 61 年（1986 年）4 月から大分大学教育学部、平成元年（1989）年 10 月島根大学教育学部に転任。島根大学国際交流主事、同教育学部附属中学校長等を務めたのち、平成 18 年（2006 年）4 月から広島大学外国語教育研究センターに勤務。平成 22 年（2010 年）3 月まで同センター長。

